

第4期宮前区区民会議 第6回会議 次第

～みんなで力を合わせてくらしやすい地域社会をつくろう～



日時：平成25年8月5日(月)18:15～20:15

場所：宮前区役所 4階大会議室

- 1 開会 18:15～18:20
- 2 議事

①各部会の区民会議提案素案について報告

3-19 ページ

- ・環境を活かした人づくり部会 18:20～18:45

議論経過説明 3-5 ページ

提案骨子・素案 6 ページ

参考…第7回・第8回環境人部会摘録 9-15 ページ

- ・心を育てる地域と世代部会 18:45～19:10

議論経過説明 7 ページ

提案骨子・素案 8 ページ

参考…第7回・第8回心を育てる地域と世代部会摘録 16-19 ページ

②素案に関して質疑応答・情報交換 19:10～19:50

③区民会議フォーラムについて 19:50～20:10

20 ページ

- ・日程候補、内容等について意見交換

【議事終了】

- 3 その他諸連絡 20:10～20:15

- ・各委員活動紹介
- ・今後の日程

第9回心を育てる地域と世代部会 8月20日(火) 18:15-20:15 区役所第1会議室

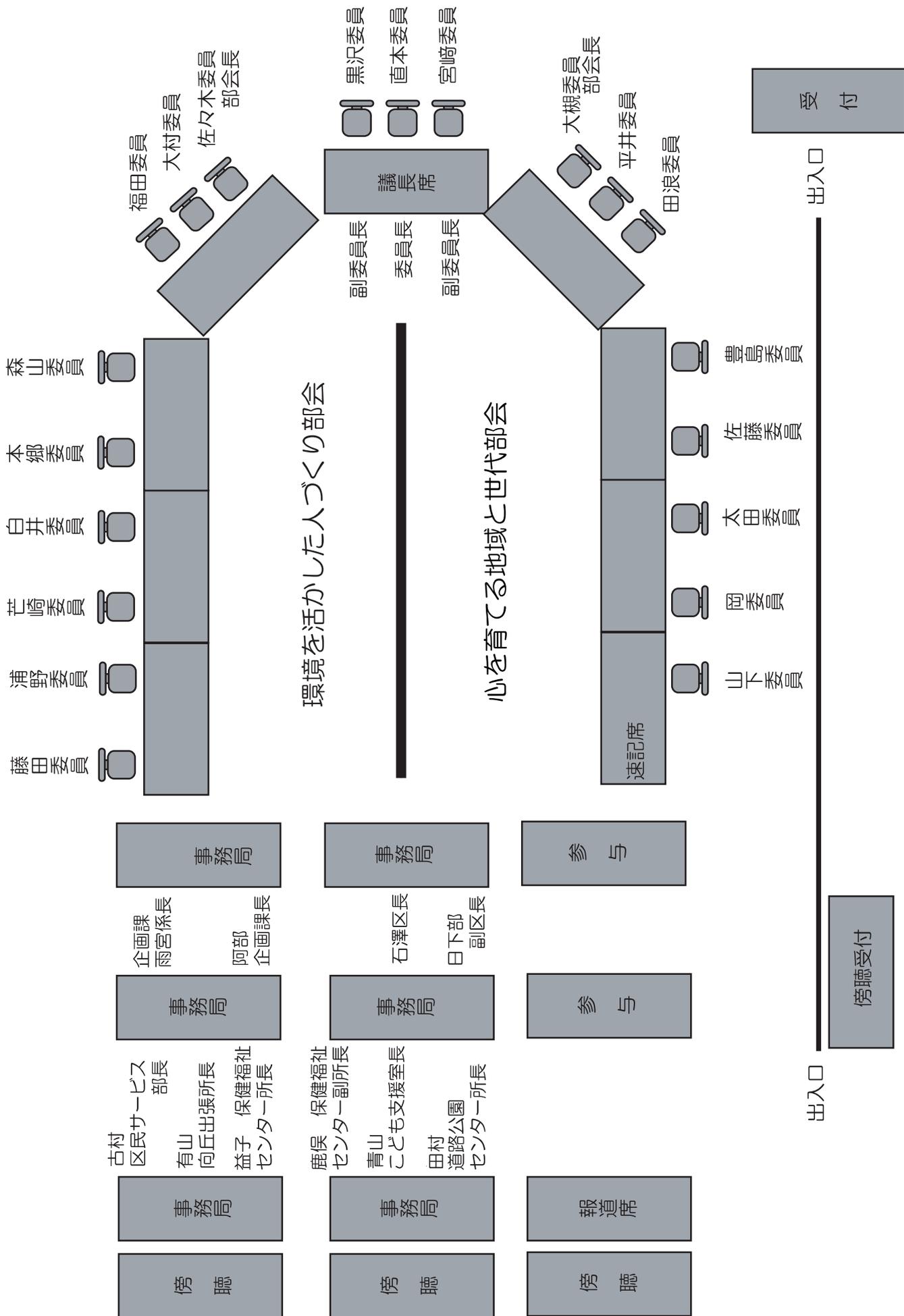
第9回環境人部会 9月3日(火) 18:15-20:15 区役所第1会議室

第7回区民会議 11月20日(水) 18:15-20:15 区役所大会議室

第8回区民会議 2月12日(水) 18:15-20:15 区役所大会議室

第4期宮前区区民会議 第6回全体会

窓 東急ストア側

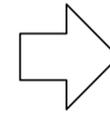


第4期宮前区区民会議 環境を活かした人づくり部会 議論ペーパー

目指す 方向性

- ①スポーツの推進
(指導者の育成・スポーツセンターの活用・健康の増進)
- ②花・緑・川など身近な環境
(公園花壇づくり・緑化団体のイベント・区内表彰、ポイ捨て禁止)
- ③区民主体のお祭り

など身近な環境を通じて



地域で活躍する「人づくり」をする

■キーワード■
人づくり
参加者を増やす
相乗効果

現状と課題

現状

- スポーツの推進**
 - ・「坂道ウォーキング教室」の開催
 - ・坂道ウォーキングコースの紹介冊子の作成
 - ・健康寿命を延ばすことが社会的に求められている
- 花・緑・川など身近な環境活動の推進**
 - ・国道沿いの斜面地に雑草が茂り、火災等の危険がある場所がある。
 - ・緑を活かした活動が活発だが、道路にはポイ捨てなどがある。
 - ・花を盗られたり、公園の花壇が荒らされることがある。
 - ・愛護会はあるものの、年に数回しか清掃活動を実施しておらず、花壇もなくゴミが散乱している公園がある。
 - ・子どもたちが自由にのびのびと遊べる場所として、常設型の冒険広場がない。
 - ・緑化活動で10年以上活動を続けているグループが多数あり「地域まちおこし」の中心になりつつある。
 - ・平瀬川が植樹等の緑化がされているのに比べ、矢上川は駐輪場として利用されているのみ。
 - ・平瀬川の源流地では開発が進み、湧水量が目に見えて少なくなっている。

課題

- スポーツの推進**
 - ・健康寿命を延ばすために、健康な身体・体力づくりが必要
 - ・坂道を活用した活動を広げていくことが必要
- 花・緑・川など身近な環境活動の推進**
 - ・緑化活動に対する理解が不足している
 - ・区内の自然の減少（中学生も指摘している）
 - ・若い世代が宮前区に定住したいと思える、積極的な緑化推進によるまちづくりが必要
 - ・整備が行き届き、自然が残されている地域資源もあるが、区民に知られていない、交通アクセスが良くない
 - ・道路美化は公園等と違い、範囲を明確にしにくいので市民活動が難しい
 - ・公園を地域住民のものとしてコミュニティの場として有効活用する必要
 - ・公園管理運営協議会、愛護会と町内会・自治会等との協力体制づくりが必要
 - ・公園に対する関心の意識付けが必要
 - ・公園の特色や利用状況の調査が必要
 - ・花壇の給水設備等の整備が必要
 - ・建物の新築の場合には雨水浸透柵の設置の働きかけをし、既存の公共施設には雨水浸透柵等を設置するなどの湧水保全対策が必要
- 区民主体のお祭りの開催**
 - ・区民が気軽に参加でき、交通の不便を感じさせないイベントがあっても良い。

課題解決提案の 方向性・イメージ

スポーツの推進

- ・健康・体力づくり
- ・指導者の育成
- ・坂道の活用

花・緑・川など身近な環境活動の推進

- ・緑化推進、自然環境の保全・活用
- ・道路の美化
- ・未利用地の活用
- ・公園の管理・運営体制づくり
- ・公園を活用したコミュニティの活性化
- ・安全安心のまちづくり
- ・河川や湧水の整備・保全
- ・河川の水質保全
- ・ボランティア団体の育成
- ・ボランティア団体の活動支援
- ・情報発信・広報力強化
- ・ふるさと意識の醸成や定住促進
- ・歴史・謂れの伝承
- ・子どもの外遊びの支援
- ・地域資源へのアクセスの確保
- ・施設整備

区民主体のお祭りの開催

- ・区民が気軽に参加できるイベントの開催

地域で活躍する「人づくり」

課題解決提案の内容・手法(案)

部会員から出た案。詳細等は未検討・提案にするかどうか未決定
テーマの絞り込みも含め、検討を今後さらに進める...

●テーマ:緑化・自然環境保全

- 案: 緑化活動の推進・PR
- 案: 花いっぱいフェスティバルの開催(公園緑地協会登録団体等)
- 案: 「みやまえマラソン」の開催(緑化・市民活動スポットを活用)

●テーマ:公園の維持・管理・活用

- 案: 公園管理や公園利用の講習会・説明会・ワークショップ等の開催
- 案: 活動団体への支援や連携体制づくり
- 案: 冒険遊び場の更なる推進(常設化を目指す)
- 案: 活動団体の活動拠点の整備

●テーマ:水辺の保全・活用

- 案: 矢上川魅力アップ(河岸整備や歴史等のPR活動)
- 案: 平瀬川源流、湧水の保全

●テーマ:健康づくり

- 案: 健康づくりの更なる推進。(公園体操の開催日拡大)
- 案: 坂道ウォーキングの更なる推進。(1DAYイベントの開催など)

第7回部会(6月4日)におけるテーマ絞り込み投票

1. 緑化・自然環境保全...4票
2. **公園の維持・管理・活用...6票**
3. 水辺の保全・活用...5票
4. 健康づくり...3票

区民会議の目的=参加と協働(市民と市が共通の目的を実現するために、それぞれの役割と責任のもとで、お互いを尊重し、対等な関係に立って協力すること)により地域社会の課題の解決を図る。

公園の機能と活用事例

地域交流（コミュニティ）の場

- 住民の交流
- 住民の連携拠点
- 世代間交流・コミュニケーション
など

□屋外型子育て拠点

- ・そらまめハウス（世田谷区羽根木公園）
乳幼児の親子と地域の交流の場
- ・森の幼稚園「ねこぼっこ」（春日井市）
園舎を持たない幼稚園として全国で展開

□駄菓子屋さんとの交流事業

- ・だがしや楽校（山形みなみ公園：山形市）
大人と子どもの交流の場として全国で展開

□ホームページ開設

- ・公園活用研究会「まいぱく」（春日井市）
お花見会、樹木名札設置等に取り組む

□まちづくり通信の発行

- ・小田野中央公園まちづくりの会（八王子市）
住民による公園づくりを機にさまざまなまちづくり活動を展開

レクリエーションの場

- 健康増進・運動
- 文化活動・趣味の活動
- 散策・憩い・遊び
- 自然との触れ合い
など

□健康づくり教室の開催

- ・パークで筋トレ（足立区）
公園の広場や健康器具を使った健康・体力づくり
- ・ふれあい健康教室（豊中市）
スポーツ振興課による健康教室、ウォーキング

□マーケット

- ・フリーマーケット（坂戸公園：高津区）
- ・井草の森公園リサイクルバザー（杉並区）
リサイクルの普及・啓発を目的に開催

□交流イベント

- ・新春・夏休みお楽しみ大会（小田公園：川崎区）

都市の安全・防災の場

- 災害時の避難地・避難経路
- 復旧・復興の拠点
- 延焼防止
- 安心できるオープンスペース
など

□防災拠点

- ・一時避難場所指定と親子防災教室の設置
- ・かまどベンチの設置
(いずれも、溝口南公園：高津区)

都市環境の提供の場

- 緑化・景観形成
- 地球温暖化防止・自然の循環システム
- 生物多様性・保全
- 環境教育の場
など

□環境学習・自然学校

- ・緑の回廊ガイドツアー（松戸市）
松戸シティガイドの案内による緑巡りツアー
- ・樹木プレートの設置とクイズラリー（桜川公園：川崎区）

□資源の循環

- ・落ち葉堆肥化事業（千葉市）
NPO、市民、学校、市の協働による堆肥化

※太文字：川崎市内の事例

太線：管理組織の事例

川崎市の公園管理について

●愛護会

公園及び緑道・緑地の除草、清掃等の美化活動や公園施設の保全等のため、維持管理活動を自発的に行う団体として、昭和52年から町内会等により公園単位に設置されたもの。

愛護会の役割

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 公共施設愛護思想の普及 ② 公園緑地内の除草及び清掃（月1回以上） ③ 公園緑地内のくずかごのごみ処理 ④ 破損遊具等の連絡 ⑤ その他愛護会の目的達成のための必要な活動 |
|---|

●管理運営協議会

市民との協働による公園の管理運営を一層推進するため、平成18年度、愛護会よりも維持管理の活動内容の範囲を拡大した協議会制度を設けた。当該公園に関わる公園利用者、町内会等で組織し、会長や会計、会計監査などの役員を置き、総会の開催などで合意形成を行う。

愛護会と異なり、設置段階で管理に関する協定を市と締結する。

管理運営協議会の役割

	維持管理	運 営
協議会が主体的に行う業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園内の清掃・除草 ・ くずかごのごみ処理 ・ 樹木の下枝落し ・ 低木の刈り込み ・ 剪定枝の処理 ・ 花壇の維持管理 ・ 公園施設の軽易な補修 ・ 砂場内のごみの除去 ・ 破損遊具等の連絡 ・ 不法投棄物の連絡 ・ 事故時の連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会等が主催する行事の利用調整 ・ 公園利用者からの利用申し入れに関する調整 ・ 総会、役員会の開催 ・ 報告提出の義務
協議会が市と協議して行う業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法面の草刈り ・ ササ刈り、芝刈り ・ 胴吹き、ひこばえの剪定 ・ 伐開、間伐、枯損木の処理 ・ 排水溝の清掃 ・ 病害虫の防除 <p>上記については、必ず協議会結成前に立会いの上相談する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 禁止行為等看板等の設置 ・ 公園の改修に関する事 ・ 遊具の設置等に関する事 ・ 公園の利活動に関する事 ・ 公園の適正利用に関する事
市が主体的に行う業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園施設の補修、改修 ・ 工作物の設置 ・ 高木、中木の剪定 ・ 流れ、噴水等の管理 ・ 給排水管の補修 ・ 不法投棄物の処理 ・ 台風災害の処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の財産管理 ・ 公園内行為の許可 ・ 工作物の設置許可 ・ 公的機関の使用許可 ・ 維持管理に関する技術的な指導、助言 ・ 協議会の運営に関する指導、助言

環境を活かした人づくり部会からの提案

スポーツの推進、身近な緑の保全、公園花壇づくりなど、地域の環境を活かしながらそれを通して地域で活躍する「人づくり」をする

提案

分野A：公園を身近なコミュニティ活性化の場として活用する
 分野B：公園の維持・管理に多くの区民が関わる仕掛けをつくる

▲取り組むべき課題

- ◇公園が地域住民に十分に活用されていない
- ◇子どもの自由な冒険型遊び場が減少している。
- ◇公園が荒廃している（ゴミの散乱、斜面地の荒廃）
- ◇公園管理運営協議会・公園愛護会は町内会・自治会への負担が大きい
- ◇公園管理運営協議会・公園愛護会への一般区民の参加の仕掛けがない
- ◇緑化保全・推進ボランティアの育成・活動支援が必要だ。

★目標

- 公園を活用して・・・
- ◎地域で活躍する「人」を育てよう
- ◎地域住民のコミュニティを活性化しよう
- ◎緑化を推進しよう
- ◎子どもの外遊びを推進しよう

【具体的な取組のイメージ】

分野	#	提案内容	詳細・備考等
A	①	樹木・草花名プレート の設置・活用	具体的な方法は担い手等を見据えながら引き続き検討を行う
	②	冒険遊び場の推進 (第2期提案) 区内4箇所	
	③	公園体操の拡大開催 (第1期提案) 区内42箇所(把握分のみ)	
	④	ネイチャーゲームの 普及	要検討：担い手・内容・場・手法等 ⇒心を育てる地域と世代部会の議論から引継ぎ。 公園等の自然を活用しながら世代間交流できる機会をつくっていく取組。
B	⑤	地域が主体となった 公園管理の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・公園管理運営協議会・公園愛護会が未設置の公園について <ol style="list-style-type: none"> 1) 参加者・協力者募集の案内 2) 市政だより等を活用して参加者・協力者募集の告知・広報 ・公園愛護会を公園管理運営協議会に移行 ・貸出可能な用具については周知 (数は多くないが、草刈機などが道路公園センターにある)

第4期宮前区区民会議 心を育てる地域と世代部会 議論ペーパー

目指す方向性

どこで？
地域で
(小学校区程度の徒歩圏単位)



何を？
① 多様な地域の人材・世代が活躍・交流する場をつくる
② 学校・地域・市民活動団体等が連携する場をつくる
ことによっては…



何を？
何を？
心を育む
① 区民の教育、子育て・健全育成を支援する
② 文化伝承や世代間の体験の共有手段として

■キーワード■
心の教育
世代間交流
後継者育成

現状

既存の交流・連携する、場や活動・取組

- ・ 学校支援センター…ボランティアの紹介・コーディネート
- ・ 各小学校…授業・行事等での地域人材活用 (アンケートで多様な事例が明らかに)
- ・ 区社協…ボランティア活動振興センター
- ・ PTA…家庭教育学級、おやじ会、各種学校行事への協力
- ・ 地域教育会議…こども国会・教育を語る集い
- ・ 市民館…市民カナル連絡会 (30 団体)、「みやまえ JAM」、各種講座
- ・ こ文…利用者団体会議、運営協議会等
- ・ まちづくり協議会…『市民活動の仲間』発行
- ・ 区民活動支援コーナー
- ・ 市民活動団体…多種多様な活動
- ・ わくわくプラザの活動

課題

- ・ 地域単位での人材とニーズのコーディネート機能
- ・ 個人・限定的つながり→有機的な連携ネットワークへの発展
※ 似た取組があちこちでバラバラに。後継者や引継ぎ問題
- ・ 地域での人とのつながりの実感や自然体験の希薄化
- ・ 学校・地域間の壁 (教員の負担、経費、管理安全責任など)
- ・ 人材情報の共有や活用・アクセスのしくみ
※ 情報は既に様々な場所にある→バラバラ、充分活用・認知されていない
※ 活用の上では、個人情報の取扱・保護の問題
- ・ 地域団体・市民活動団体の高齢化・弱体化、
- ・ 活動や伝承の後継者の育成。空白の 40~50 代？
- ・ 既存の活動やしくみの知名度UP (もっと広く知ってもらう)
- ・ 潜在人材の発掘 (場やきっかけがない人たち)
- ・ 地域コミュニティ・支えあい・ボランティア意識の低さ
- ・ 現役世代の多忙さ・時間のなさ
- ・ 全体的視点の不在
- ・ 地域や学区による温度差・活動差
- ・ これまでの取組の推進強化・継続性の確保

課題解決提案の方向性・イメージ

既存の活動や場の発展支援

- ・ 参加者から運営側に育つ段階的な講座やしくみの提案
- ・ 新たな連携や交流のしかけ
- ・ 良い活動の広報・拡大支援

親子一緒に体験・参加できる場づくり

- ・ 高齢者もその場にいるのが理想
- ・ 自然体験などを通じて感動体験の共有

潜在人材の発掘・活用のしくみづくり

- ・ 地域の潜在人材のリスト化？
- ・ リストの活用・維持管理・更新
→ゼロからの立上げは大変か？
情報収集には用途や目的の明確化も必要

総合的視点、プロデュース能力をもつリーダーの育成

- ・ 自立運営につなげるノウハウや情報の提供

課題解決提案の内容・手法(案) 第8回部会の議論結果

モデル地区・団体へのサポート

■風の泉 (九九学習支援サポート) への活動支援

- 地域の人と児童の心の交流も目的。区民会議の委員経験者も多い。ニーズをうかがって提案としてまとめたい。
- 学校支援センターの機能強化
○ 今年度実施した学校アンケート調査とその結果の提供は、区民会議の実績としてアピールする。
○ 社協などと連携し、単独のボランティア募集でなく、横のつながりを持つことを目指す。

既存イベントに世代交流の企画やコーナーの導入

■子育てフェスタでの世代交流企画

- 過去には赤ちゃんと一緒にできる手遊び歌などが好評だった。他世代交流したいという実行委員もいる。

■子ども遊びランド

- 区民会議でみやまえカルタを活用したコーナーなどもうける。

■「チャレボラ」体験者の交流会

- OB (経験者) の交流の場など設定できると良い。

交流プログラムの開発・企画

■世代交流対話の場の企画

- ある分野への知識・見識や経験・技術を核に多世代が体験・対話を共有する企画をシリーズ化して実施する。

■自然体験の集い 宮前区版

- 多摩区のイベントほど大掛かりでなくて良い。宮前区内のいろいろな公園で年間を通してしかけるイメージ。地域の農家と連携して地場産物の体験、話し合い交流にもつなげられると良い。
- 地域のコーディネートを兼ね担い手として実施できる団体がいないと困難。

■地域教育会議の「談義カード」の活用・アレンジ作成

- 地域教育会議で過去作成。地域の様々な問題を討議することで互いの理解や会話を深めるしくみ。
- 世代交流の目的に即したアレンジ、新たな問題の作成が必要。地域教育会議にまず投げかけてみる。

アーカイブ事業との連携

- 区役所のアーカイブ事業に関する方針や企画等が固まってきた時点で具体的な検討を進める。

コーディネーターの育成 ※今期は経過報告のみ、提案としては取り上げない

- 市民館等では毎年テーマを変えながら養成講座を展開しているが、修了者等を活かしてきれていない現実がある。

区民会議の目的=参加と協働 (市民と市が共通の目的を実現するために、それぞれの役割と責任のもとで、お互いを尊重し、対等な関係に立って協力すること) により地域社会の課題の解決を図る。

心を育てる地域と世代部会からの提案

多様な人材・世代が、地域で交流し、連携する場を創出することで、健全育成や文化・体験の共有と伝承につなげ、区民の心を育む。

提案

- 分野A：世代間交流に取り組む諸団体へのサポートの実施
- 分野B：既存のイベントでの世代交流のしかけの企画と実践
- 分野C：世代間の対話につながる新たなプログラムの企画と実践
- 分野D：活動の記録、市制100周年に向けたアーカイブ

▲取り組むべき課題

- ◇人とのつながりや自然体験の希薄化
- ◇地域団体や市民活動団体に見られる高齢化・固定化・弱体化の傾向
- ◇地域での人材とニーズのコーディネート機能や連携ネットワークの不在
- ◇既存の活動の知名度の低さ
- ◇地域への参加意識の低さ、潜在的な地域人材の活動の場やきっかけの少なさ

★目標

- ◎世代交流に資する良い市民活動の推進強化、継続性の確保を支援しよう
- ◎他世代が体験や文化、会話を共有できる場を地域でつくろう
- ◎新たな人材の参加へのきっかけ、活躍の場を創出しよう

【具体的な取組のイメージ】

分野	#	提案内容	詳細・備考等
A	①	風の泉の九九暗唱支援活動へのサポート	●広報支援、地域ボランティア募集の支援など区や団体との調整結果を踏まえてサポートする ⇒7月17日ヒアリング・7月23日活動見学・体験
	②	学校支援センターの機能強化	●学校支援センタースタッフにヒアリングを行い、支援可能なメニューを割り出した上で、部会で引き続き審議をする
B	③	「チャレボラ」での交流会の開催	●主催である市・区社会福祉協議会との調整を踏まえて検討
C	④	世代間で交流する対話の場を企画	●特定分野に知識・見識や技術・経験を持つ成人を核として、子ども達や親子が、体験・対話を共有する場を企画・実施 ⇒要検討：担い手・場・手法・テーマ例（歴史・自然等） コミュニケーションツールを作成しての展開なども検討
D	⑤	Cの対話を記録に残す	●Cの各企画を実施し、記録を作成。区民が閲覧できる形での提供 ⇒Cの検討を深める中で具体化していく
	⑥	アーカイブ事業の実施	●区の情報をまとめるアーカイブ事業を実施し、手法として世代間交流の内容を盛りこんでいく



第7回環境人部会 摘録

日時：平成25年6月4日(火)18:15~20:15

場所：宮前区役所4階第1会議室

【進行：佐々木部会長】

1 出席確認

出席：佐々木部会長、大村委員、福田委員、森山委員、本郷委員、白井委員、
芒崎委員、藤田委員、直本委員

欠席：浦野委員、黒沢委員

2 スケジュールの確認

別紙配布資料「今後のスケジュール」「第3期の総括報告書から抜粋」に基づき、今後の審議ペースと、区への提案や区民会議フォーラムに向けたまとめ方のイメージを確認した。

3 具体的な提案の検討

4つのテーマごとに各委員が追加意見を述べた。また、事務局が4つのテーマごとに既存の取組内容について説明した。主な意見は以下の通り。

①緑化・自然環境保護

芒崎：宮前区は花壇づくりが進んでおり、積極的に参加してくれる人が増えている。もっと土地があり、花壇を広げていけると良い。

白井：遺産相続時に竹林などが売られてしまう。行政による網掛けによって保存することはできないか。

本郷：町内会などを通じて行政に繰り返し話しをすると、行政も一部だけでも残す方向で動いてくれる。

直本：遺産相続は個人のことで難しい。市に寄付してもらうことで、税金が控除され、あなたの名前をつけた緑が残るといった名誉が残るようにする。

宮前区は、全国の市区町村と比較して公園が多く、良く使われている。

森山：開発をしていないところの中には、斜面など地主も活用に困っている土地がある。相続による保全というのは良い。

②公園の維持・管理・活用

大村：公園管理運営協議会・公園愛護会は熱心に活動している公園がある一方

で、形骸化してしまっている公園もあり、公園によって差があるが、道路公園センターとして踏み込んだ運営をする体制にはないと感じている。愛護会では年数回の草刈をする程度のところもある。

宮崎第4公園の活動をモデルとして他の公園に水平展開し、より広い担い手による取組をしてはどうか。

福田：公園に関心を持ってもらうために、園内の樹木に名札を付けてはどうか。

藤田：公園は第2期で取上げたテーマだが、今期もさらに掘り下げて検討しても良い。

大村：第2期は提案だけで終わっている、進捗状況はどのような状況か。もう一步進めないといけない。区民会議の知名度を上げるためには、実行が伴わないといけない。

⇒事務局：第2期では①公園への掲示板設置②冒険遊び場を広めよう③公園月間の設定④公園管理運営協議会をサポート、の4つの提案。様々な場面で活動の後継者不足は課題とされているが、管理運営協議会等については公園体操をしている人たち、老人会、商店会等、他との連携も見据えた管理が必要であるとも指摘されている。

③水辺の保全・活用

本郷：平瀬川以外にも、良く探すと水源や水源跡がある。水源がないと、水は干上がってしまう。有馬川や矢上川も探せば水源はあると思う。それらは今だったらまだ残す活動ができるのではないかと。

④健康づくり

本郷：現在公園体操は、週に1~2日しか実施していないところが多い。私の近くの公園では、太極拳やニコニコ体操が常に実施され、28名が参加している。これらを他の公園でも実施する組織を立ち上げる。

藤田：坂道は第3期のテーマだが、ウォーキングのイベントは実際には進んでない。地元（町内会単位）に密着した人が、簡単に参加できる、坂道を利用できるイベントがあると良い。

本郷：日常活動が健康づくりに結びついているのが良い。飛森谷戸では田植えをする。田植えは大変な労働であり、健康づくりにつながる。花壇の管理、公園の活動等、日常活動が健康づくりになる。

———議論の優先順位を決定

以上の意見交換、区の既存の取組内容を踏まえ、このまま4つのテーマを並行して議論していくのは困難であることを確認し、審議の優先順位を決めるために、各委員2票ずつで投票をおこなった。票数の最も多い「公園の維持・管理・活用」について、課題解決に向けた検討を進めることを確認した。なお次回、第2期区民会議提言の取組状況について事務局が整理し検証する。また、これまでの議論を事務局が素案としてまとめることとなった。

結果は以下の通り。

- ①緑化・自然環境保全：4票
- ②公園の維持・管理・活用：6票
- ③水辺の保全・活用：5票
- ④健康づくり：3票

佐々木：票が多いものから優先的に審議を進める。1つ目のテーマで提言の方向性が決まらなかつたら、次のテーマの検討に移る。

直本：「水辺の保全・活用」は重要なテーマではあるが、残された期間で提言をまとめるのは難しいのではないか。「公園の維持・管理・活用」の検討を進める中で、結果として「水辺の保全・活用」も絡んでくる

4 次回の日程

第8回 7月3日(水) 18:15～ 区役所4階第1会議室



第8回環境人部会 摘録

日時：平成25年7月3日(水)18:15~20:15

場所：宮前区役所4階第1会議室

【進行：佐々木部会長】

1 出席確認

出席：佐々木部会長、浦野委員、大村委員、福田委員、藤田委員、本郷委員、
芒崎委員、直本委員

欠席：白井委員、黒沢委員、森山委員

2 前回部会の議論を振り返り

別紙配布資料「第7回環境人部会 摘録」に基づき、前回部会の議論を振り返り、今年度の審議テーマを「公園の維持・管理・活用」とし、具体的な実施内容について議論を進めることを確認した。

3 公園の維持・管理・活用の具体的な取組内容の検討

別紙配布資料「例・第3期の報告書のスタイルに今までの議論を落とし込んだもの」に基づき、これまでの議論を振り返った。

引続き、別紙配布資料「第2期区民会議での公園に関する各提案の進捗状況」に基づき第2期区民会議提案に関する進捗状況を確認し、事務局が「公園に情報掲示板を設置することに関するアンケート集計結果」とともに補足説明した。

また、道路公園センター協働推進担当課長が別紙配布資料「公園管理について」に基づき、区内の公園の管理の状況について説明。

- ・市や道路公園センターの立場としては、区民の方々に愛護会・協議会を積極的に組織してもらいたい。
- ・まずは愛護会。そこから管理運営協議会にステップアップしてもらいたい。
- ・公園管理のボランティアの方が活動していることは看板を出しているのわかるが、ボランティアの方がいないことの広報も必要だろうと道路公園センターも課題認識はしている
- ・愛護会として登録されていなくても公園清掃をすすんでやってくださる方もいるので組織されていないところ全てが荒れているとは言えない。

コンサルタントが別紙配布資料「公園の機能と活用事例」に基づいて、公園の活用事例について説明した。

以上の内容を踏まえ、具体的な取組内容を検討した。主な意見は以下の通り。

A 公園を身近なコミュニティ活性化の場として活用する

浦野：フロントタウン隣のふれあい広場で子ども達を水遊びさせた後、母親達がフロントタウンのテラスでランチをしている。ふれあい広場には広い芝生があり、マットを敷いてお昼を食べたりできるが、そういうイメージはないようだ。公園内で完結できるしかけがあればいいのかもしれない。

佐々木：何も無いところに集まってコミュニケーションを取るの難しい。テラスがあるだけでも良いが、公園に集まった人達がコミュニケーションをとるきっかけになるようなしかけが必要だ。

直本：子ども達の遊びや公園体操の場だけでなく、曜日や時間帯で住み分けするなど、多目的に活用の幅を広げられると良い。

本郷：学生時代のクラブハウスは、椅子があり、また近くにうどん屋があったり、そういうところだからこそ集まりやすかった。今ある公園はいずれも町外れで、近くにはそういった店もない。そういうしかけがあると、集まりやすい。

佐々木：全部の公園は無理でも、人が集まれるようなスポットがいくつかあるといいのかもしれない。

直本：人が集まるには、ある程度の広さなどの条件がある。

本郷：資金力のある自治会は自治会館を持っているが、そうでない自治会に公園の一部を貸し、公園利用者が自由に使えることを条件に自治会館を建てることを許可してはどうか。

本田：子ども文化センターと老人いこいの家がそうだ。公有地に建っており、基本的には公園のそばにある。

【まとめ】

- ・公園に集まりやすいしかけをつくる。
- ・公園を多目的に利用する

B 公園の維持・管理・活用に多くの区民が関わる仕掛けをつくる

福田：4,000㎡を越えると公園ではなく自然林だ。市民がイメージする公園は自分の敷地よりも多少広く、目が届く範囲の空間だ。長尾公園にも森のような部分があり、公園管理運営協議会等で手をつけることは無理だ。「公園」でくくることに無理がある。

芒崎：書類作成が障害となって公園管理協議会の会長のなり手がいない。公園の管理や清掃の担い手はいる。

佐々木：インタビュー形式にするなど書類作成の部分をサポートしてはどうか。

藤田：書類そのものは難しいものではない。書類を書くのが嫌ということだ。

芒崎：お金も貯まったので、道具を収納する倉庫と電動草刈機の購入を決めた。一時よりも少しずつ話が進んでいる。

佐々木：活動を始める際に必要な道具を貸与できると良いのではないか。

福田：自分達のまちは自分たちでつくるという観点からすると、自分達の公園は自分達たちで維持管理するということが大事だ。

佐々木：市の広報誌で公園管理運営協議会の設置を呼びかけたり、道具の貸与についても情報発信してはどうか。

福田：みんなのための、みんなの公園だ。町内会・自治会だけで管理をしようと思うから、骨がおれる。みんなでやろうといえ、自然発生的にやってくれるだろう。それがまちづくりであり、人づくりだ。

【まとめ】

- ・公園愛護会・公園管理運営協議会が未設置の公園については、まず公園愛護会の設置を進める必要がある。
- ・公園愛護会がある公園については、公園管理運営協議会に移行してもらえ方法を考える。
- ・公園活用の提案は、企画部会で具体的なものを1～2案に検討する。

〈具体的取組〉

- ・未設置公園に管理者募集の案内を掲示する
- ・市政だより等で公園管理者募集の告知や広報を行う
- ・貸出可能な用具について周知する

区民会議のあり方について

大村：第2期で提案した③「公園月間の設定」、④「公園管理運営協議会をサポート」については、成果があがっていない。区民会議提案がブレークダウンされていない。それが区民会議の知名度が低い理由だ。今後の取組をどうするかが問題だ。

佐々木：③④についてはテーマとして挙げたが具体的なところまで落とし込まなかったということだった。これを教訓に、提案を広げるのではなく、具体的に落とし込むところまでを確実にする方向で話し合えると良い。

直本：第1、2期は区民会議としてどのような方向性で進めるかもわからない状況での議論だったと聞いている。課題だけ提案し、行政に丸投げでは実現が難しい。解決できなかった課題はその後の区民会議で取上げ、具体的な方向付けを協議することも可能だ。また、今日ここでの取組内容の検討も、実現可能なところまで議論する必要がある。

【次回の進め方】

公園活用の提案は、企画部会でたたき台として具体的な提案を2案程度検討する。次回は、それらをブラッシュアップする形で議論を進める。

4 次回の日程

【第5回 企画部会】

7月24日（水）18：15～ 区役所4階第1会議室

【第6回 区民会議】

8月5日（月）18：15～ 区役所 大会議室

【第9回 環境人部会】

9月3日（火）18：15～ 区役所4階第1会議室

第7回 心を育てる地域と世代部会

【摘録】



日時：平成25年5月28日(火)18:15~20:30

場所：宮前区役所4階第1会議室

【進行：大槻部会長】

1 出席確認

出席委員：太田委員、大槻委員、岡委員、平井委員、田浪委員、豊島委員、直本委員、
山下委員

欠席委員：佐藤委員、宮崎委員

2 本日の議事内容の確認

別紙配布資料に基づき、部会審議終着点のイメージの共有、課題解決提案の具体的な実施内容の検討を行うことを確認

3 具体的な提案の検討

意見交換→別紙のとおり意見集約

4 今後のスケジュールについて

第8回 7月2日(火)18時15分~20時15分 区役所4階第3会議室

テーマ：心を育てる地域・世代間交流

【総論】

世代交流、多様な人材の発掘、活動団体の交流と連携という課題・目指すべき方向性を改めて確認。体験・交流・対話の重要性を共通認識した上で具体的な取組について、いくつか案が出された。取組の詳細を今後検討していく。

【キーワード】

心の教育、世代交流、人材発掘、活動団体の交流・連携、体験・交流・対話、

課題の再認識

■多様な人材の発掘

- 地域教育会議など、地域で教育の場に関わっている人は限られ、ごく一部に留まっている。同じ顔ぶれ。(山下・豊島)
- 地域教育会議の子ども国会など子ども向けイベントも優等生のみが参加。同じ顔ぶれ。(平井・豊島)

■活動団体の交流と連携

- 既存の活動発表の場は、なかなか交流の場にまで発展していない。もったいない。(平井・田浪)

課題解決提案の方向性や手法

- 地域からもっと多様な人材を掘り起こすしくみ。(平井)
- 既存の活動団体をつなげていく視点。世代は異なるが互いに興味を持っている活動同士をつなぐ。(平井・田浪)
- バリアフリーの心を育てる。例えば障害者の面倒を見るのではなく、障害者と共に何かをする心。(太田)
- 多世代が顔見知りになる機会を増やす。(田浪)
- 求めているものは押し付けない。既存の活動に口を挟む様な形にならないように。(平井・太田)
- 地域の年配の方が自分の技術や知識を伝えたり、活かせる場をつくる。(直本)
- 世代間対話のプロセスを重視。共有体験から対話する流れや、興味を引くプログラムが重要だ。(田浪・直本・平井ほか)
- 先進事例を情報収集し、参考とする。例：第3期の坂道の提案における東京都目黒区の実践事例(山下)

既存取組の例（今回新たにあげられたもの）

- 國學院大學学生の奉仕会。若い世代による障がい者と共の活動は障がい者も喜ぶ。(太田)
- 東高根森林公園での市民活動。勉強会開催など積極的(太田)
- 子育てフェスタ実行委員会。会議中の預け保育をフレンド神木の高齢者たちに依頼を検討している。(田浪)

課題解決提案の形について

- 複数事例を示す。テーマ別に事例を整理する。支援方法も示したい。(直本・山下)
- あるべき姿とそこに至る方法論を示す。道筋を示す必要はあるが、主体まで区民会議である必要はない。(直本・事務局)

具体的な取組案

- 多摩区生田緑地で開催されている「自然体験の集い」の宮前区版。(平井)
- モデル地区での学習支援と世代交流。事例：菅生地区の塾先生の取組・サポート南野川など(岡・豊島)
- 風の泉の活動(九九学習支援)の支援。ニーズを関係者に伺う。(田浪)
- 子育てフェスタなど既存のイベントに世代交流をテーマとした企画や展示・コーナーを設ける。(田浪)
- 世代交流プログラムの開発。「課外授業 ようこそ先輩(NHK)」の宮前区版や談話カードなど。(大槻)
- 世代間対話の場の企画と記録の冊子化。市制90年(再来年)、100年に向けたアーカイブ事業と絡めて。(大槻)

第8回 心を育てる地域と世代部会

【摘録】



日時：平成25年7月2日(火)18:15~20:30

場所：宮前区役所4階第1会議室

【進行：大槻部会長】

1 出席確認

欠席委員：宮崎委員

2 前回会議内容の確認

摘録に基づき、前回までの討議の内容、流れを確認

3 進行イメージの確認

資料に基づき、今回の討議内容、流れ及び到達目標等を確認。

3 具体的な提案の検討

意見交換→別紙のとおり意見集約

4 今後のスケジュールについて

第9回 8月20日(火)18時15分~20時15分 区役所4階第1会議室

テーマ：心を育てる地域・世代間交流

【総論】

世代交流、多様な人材の発掘、活動団体の交流と連携に資する課題解決提案について、これまでの案から以下のようないくつかを選出し、具体的な内容・進め方等を討議した。

【キーワード】

心の教育、世代交流、人材発掘、活動団体の交流・連携、体験・交流・対話、

課題解決提案として取り上げられた項目とその内容・今後の進め方

モデル地区・団体へのサポート

■風の泉（九九学習支援サポート）への活動支援

○学習だけでなく、地域の人と児童の心の交流も狙っているので、支援するに相応しい。区民会議の委員経験者も多い。学校に入っていく際に苦労しているようだ。ニーズをうかがった上で提案としてまとめたい。（田浪）

■学校支援センターの機能強化

○今年度実施した学校アンケート調査とその結果の提供は、区民会議の実績としてアピールができる。（平井）
○社協などと連携し、単独のボランティア募集でなく、横のつながりを持つことを目指したい。（太田）

既存イベントに世代交流の企画やコーナーの導入

■子育てフェスタでの世代交流企画

○過去には赤ちゃんと一緒にできる手遊び歌などが好評だった。他世代交流したいという実行委員もいる。（田浪）

■子ども遊びランド

○区民会議で宮前かるたを活用したコーナーなどもうけてはどうか。（田浪）

■「チャレボラ」体験者の交流会

○OB（経験者）の交流の場など設定できると良い。まずは今年度のまとめの場に見学に行く。（太田）

交流プログラムの開発・企画

■世代交流対話の場の企画

○ある成人の得意分野への知識・見識や経験・技術を核に他世代が体験・対話を共有するイメージ。様々なテーマをシリーズとして設定する。例えば「旧陸軍東部 62 部隊の歴史」の調査活動しているグループなどがある。（大槻・岡・山下）

■自然体験の集い 宮前区版

○多摩区のイベントほど大掛かりでなくて良い。宮前区内のいろいろな公園で年間を通してしかけるイメージ。地域の農家と連携して地場産物の体験、話し合い交流にもつなげられると良い。（平井）

○担い手としてコーディネートを含めて実施できる団体が確立していないと困難、その動きをサポートする形では可能か。

■地域教育会議の「談義カード」の活用

○地域で直面する様々な問題の場をカードで設定し、Yes / No で討議することで互いの理解や会話を深めるしくみ。

地域教育会議で問題作成し、先生方の研究の場でも取り上げられた。（大槻）

○世代交流の目的に即したアレンジ、新たな問題の作成が必要。地域教育会議にまず投げかけてみる。（大槻）

アーカイブ事業との連携

○他都市では、歴史・文化などをテーマに編集した冊子を 1 冊 700 円で販売している例もあった。（山下）

○区役所のアーカイブ事業に関する方針や企画等が固まってきた時点で具体的な検討を進める。（大槻、事務局）

コーディネーターの育成 ※今期は経過報告のみ、提案としては取り上げない

○PTA のOB 会は組織の有無があり、各校で事情が異なる（山下）

○市民館では毎年テーマを変えながら養成講座を展開しているが、修了者等を活かしてきれていない現実ある。（大槻）

会議スケジュール

開催スケジュール

進行想定

第6回全体会
平成 25 年 8 月 5 日開催

課題解決提案の素案の発表
全体で意見交換

第 9 回部会
平成 25 年 8～9 月開催

課題解決提案のまとめ①
全体会での意見も踏まえ、提案をまとめていく

第 10 回部会
平成 25 年 10 月開催

課題解決提案のまとめ②
提案書としてまとめられる段階まで固める

課題解決提案二次案の作成
担い手や取組手順等も含めて固めていく

第7回全体会
平成 25 年 11 月 20 日開催

課題解決提案の二次案の発表
全体で意見交換

課題解決提案最終案の作成

区長への提案 平成 25 年 12 月頃

第8回全体会
平成 26 年 2 月 12 日開催

第 4 期活動の内部総括
区民会議フォーラム企画・第 4 期の振り返り

区民会議フォーラム 4 期活動の報告と総括 3 月に開催